



MS315-10001 オーバーフェンダー

取付・取扱要領書

この度はオーバーフェンダーをお買い上げいただきありがとうございます。
本書は本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合	備考
MS315-10001	C-HR '16.12～	素地部品（シボ）

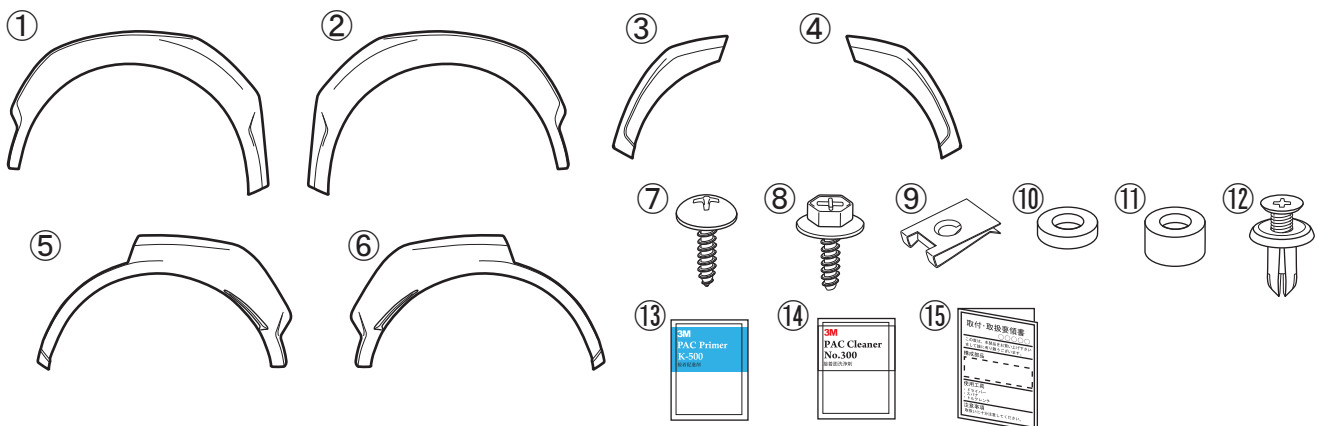
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	フロントオーバーフェンダー LH	1	
②	フロントオーバーフェンダー RH	1	
③	リヤオーバーフェンダー No.1 LH	1	
④	リヤオーバーフェンダー No.1 RH	1	
⑤	リヤオーバーフェンダー No.2 LH	1	
⑥	リヤオーバーフェンダー No.2 RH	1	
⑦	タッピングスクリューA	4	4×12
⑧	タッピングスクリューB	4	6×25
⑨	スピードナット	4	M4
⑩	スペーサー A	2	t=5mm
⑪	スペーサー B	2	t=10mm
⑫	クリップ	2	
⑬	PACプライマー	2	K-500
⑭	PACクリーナー	1	No. 300
⑮	取付・取扱説明書（本書）	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

やってはいけないこと

必ず行っていただくこと

警告

- ⊖ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ① 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ① 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが不足すると脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

注意

- ① 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ① 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別紙の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ① 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または、「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行なってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ① 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ① 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ① 両面テープは一度貼り付けてから剥がれますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ① 本商品の両面テープは、環境温度が20°C以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が不足すると両面テープが剥がれます。
- ① 両面テープの圧着は49N (5Kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が不足すると両面テープが剥がれます。
- ⊖ 本商品の取付け24時間は、洗車や水(水拭き含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

- ① 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ① 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

ワックス・コーティング剤などについて

- ⊖ 本商品は素地部品(シボ)のため、ワックス、コーティング剤、コンパウンド等は使用しないでください。部材の凹凸に溶剤が入り込み白くなってしまったり、ツヤやムラ・シミなどが出来る場合があります。

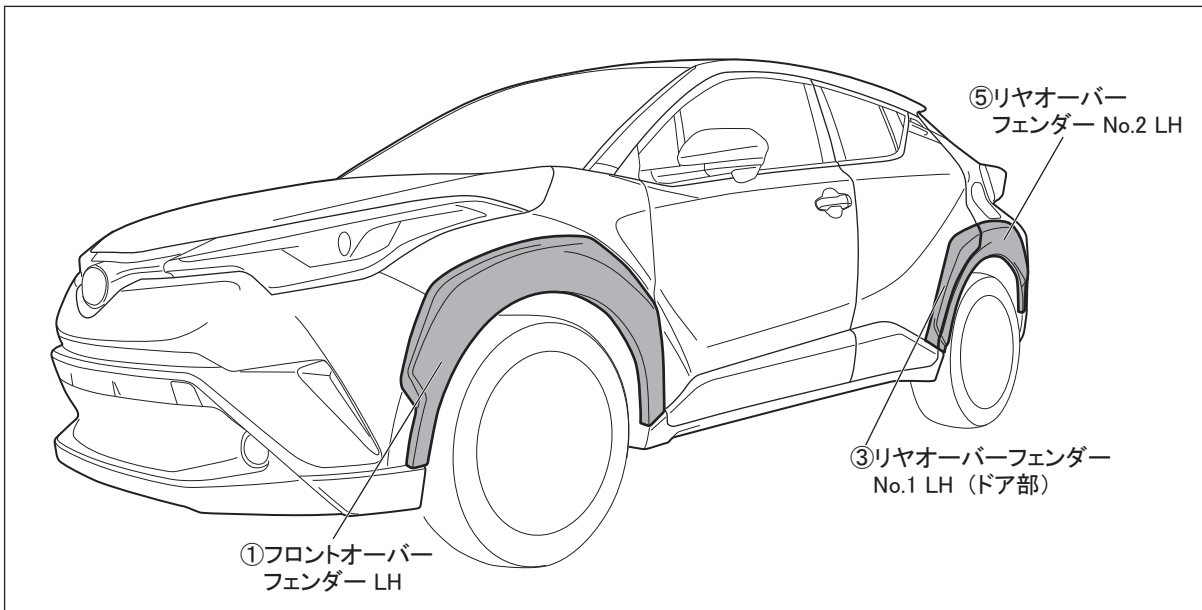
■ 目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
 2. 取付け・取扱いご注意（作業者様へ） 2
 3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
 4. 取付け要領 4～11
 5. 取付け後の確認・点検 11

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ
- ・電動ドリル（刃：3.0mm/6.0mm/7.0mm）
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 取付構成図

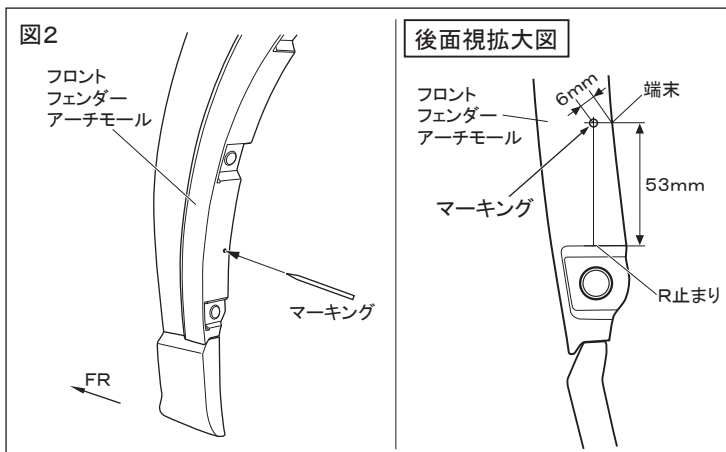
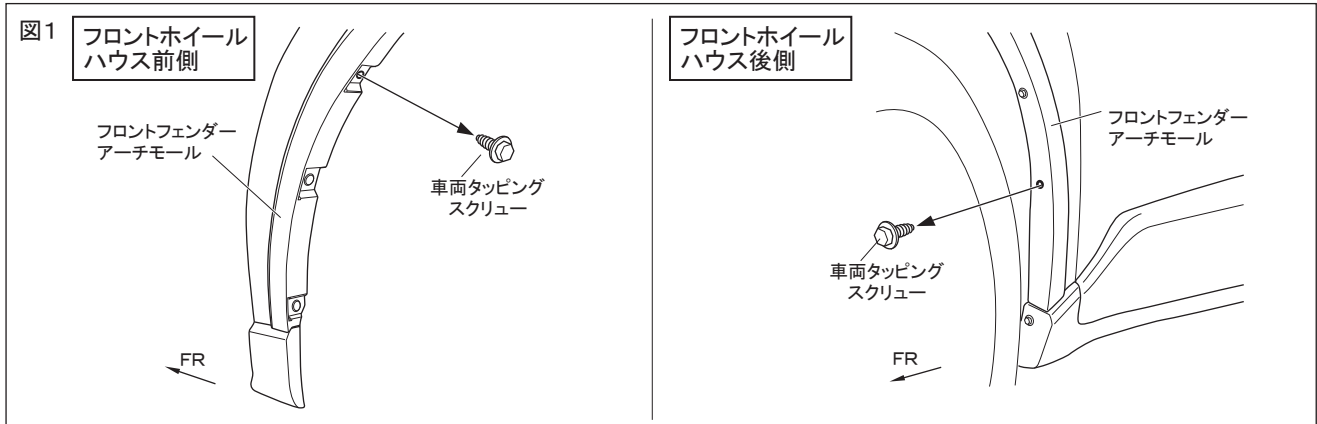


※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

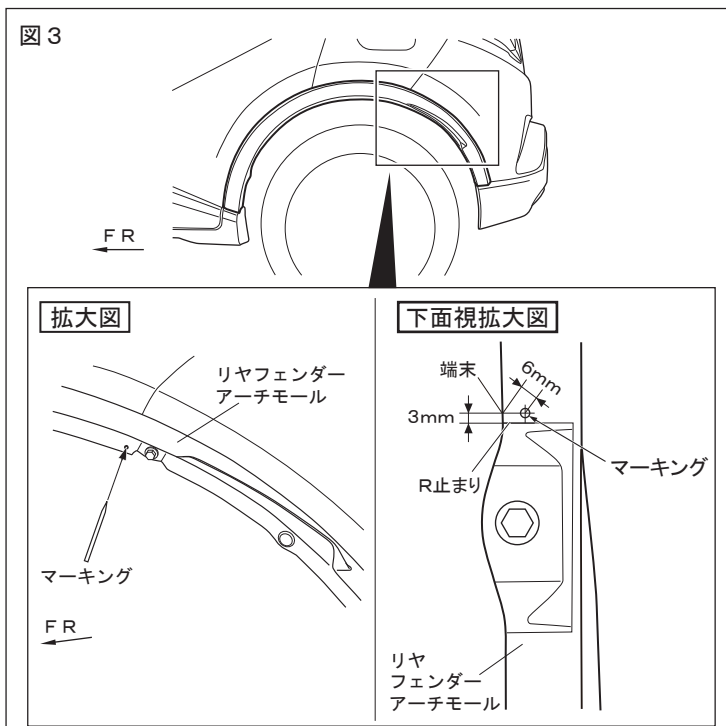
□フロント/リヤオーバーフェンダー 取付準備

1. 図1のようにフロントホイールハウス部の車両タッピングスクリューを外す。(左右各2箇所)

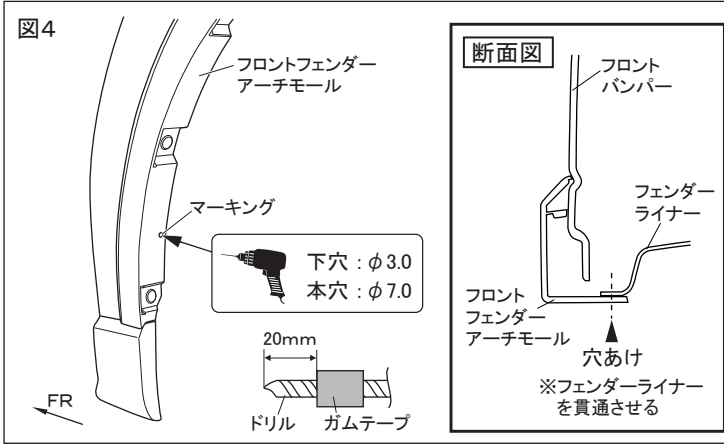
⚠注意：取り外した車両タッピングスクリューは再使用しません。



2. フロントフェンダーアーチモールに図2の寸法で穴あけ位置をマーキングする。(左右各1箇所)



3. リヤフェンダーアーチモールに図3の寸法で穴あけ位置をマーキングする。(左右各1箇所)



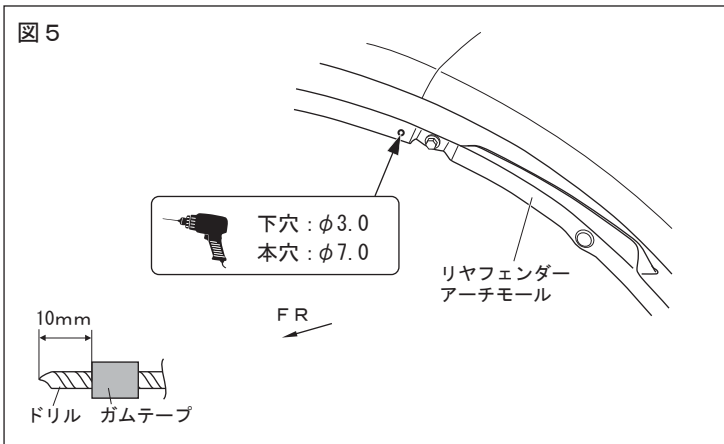
4. 図4のようにドリルにストッパーになるようにガムテープを巻き、フロントフェンダーアーチモールのマーキング位置にフェンダーライナーを貫通させながら下穴をφ3.0であけ、φ7の本穴をあける。(左右各1箇所)

5. 穴周囲のバリを除去する。

👉 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ **注意:** バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



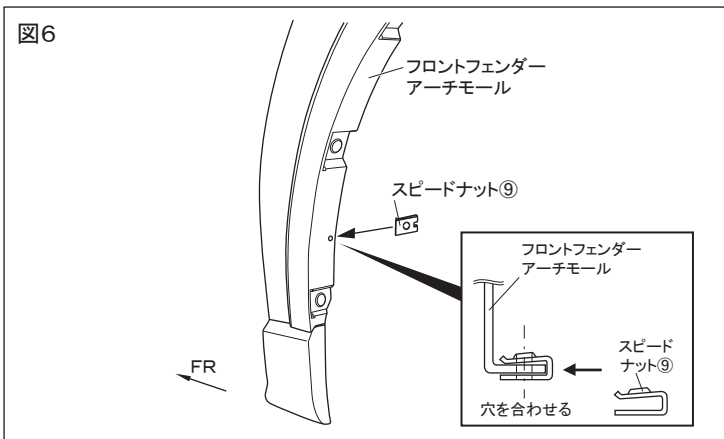
6. 図5のようにドリルにストッパーになるようにガムテープを巻き、リヤフェンダーアーチモールのマーキング位置に下穴をφ3.0であけ、φ7の本穴をあける。(左右各1箇所)

7. 穴周囲のバリを除去する。

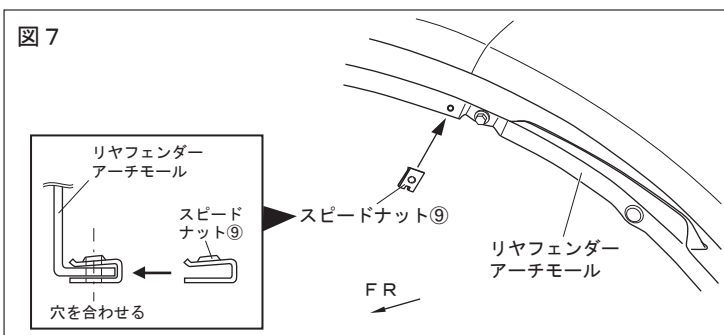
👉 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠️ **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

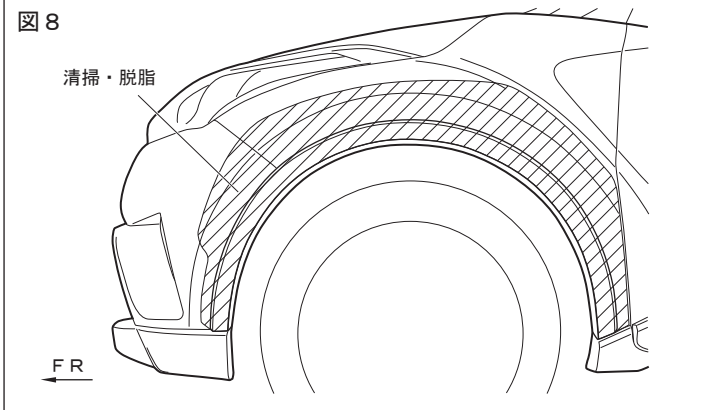
⚠️ **注意:** バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。



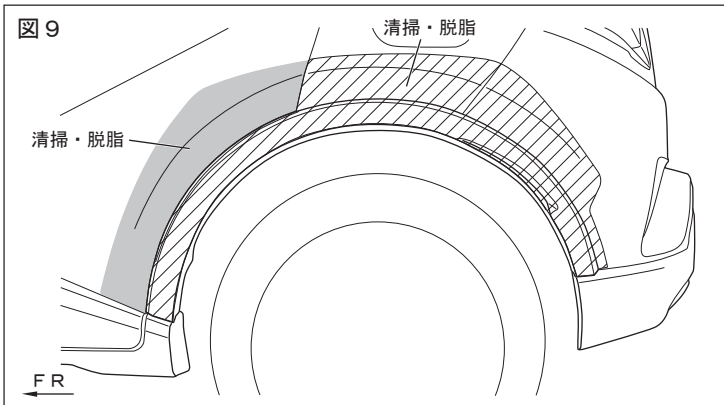
8. フロントフェンダーアーチモールのあけた穴に合わせてスピードナット⑨を取付ける。(左右各1箇所)



9. リヤフェンダーアーチモールのあけた穴に合わせてスピードナット⑨を取付ける。(左右各1箇所)



10. 図8に示すように、フロントオーバーフェンダー貼付け部の汚れを清掃し、ホワイトガソリンやIPA等で脱脂する。

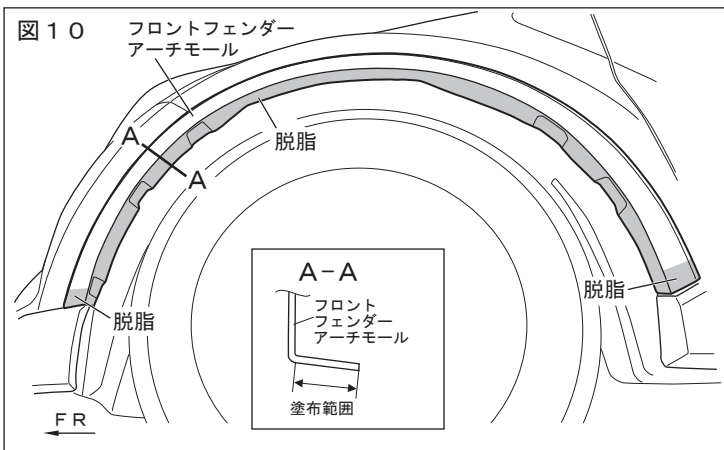


11. 図9に示すように、リヤオーバーフェンダーNo1貼付け部の汚れを清掃し、PACクリーナー⑭で一方向に拭いて脱脂する。

⚠ 注意：ボディコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行ってください。

⚠ 注意：脱脂を行う際は、十分に清掃した後に付属のPACクリーナーを使用して脱脂を行ってください。付属のPACクリーナーを使用し、パーツクリーナー等の他の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、両面テープの浮き・剥がれの原因となります。

🔧 アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

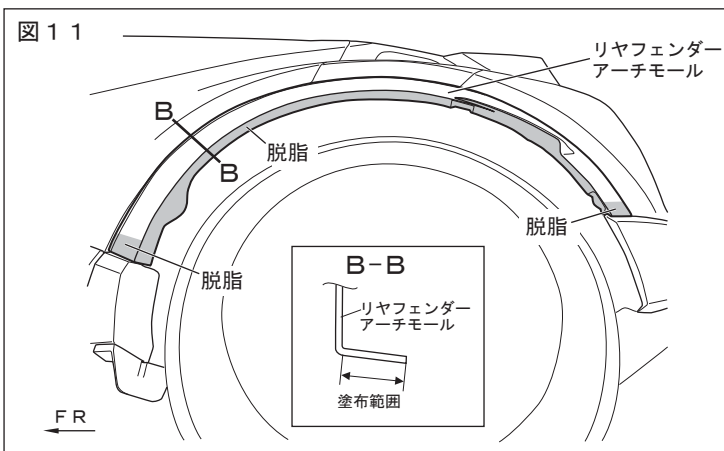


12. リヤオーバーフェンダー No.2 貼付け部の汚れを清掃し、ホワイトガソリンやIPA等で脱脂する。

⚠ 注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用してください。

13. 図10のA-A断面図に示すように、車両フロントフェンダーアーチモールにPACプライマー⑬を塗布して10分以上乾燥させる。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。



14. 図11のB-B断面図に示すように、車両リヤフェンダーアーチモールにPACプライマー⑬を塗布して10分以上乾燥させる。

⚠ 注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

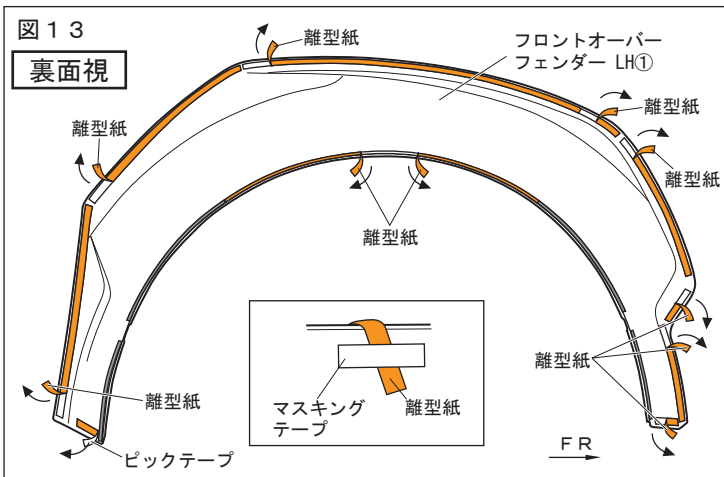
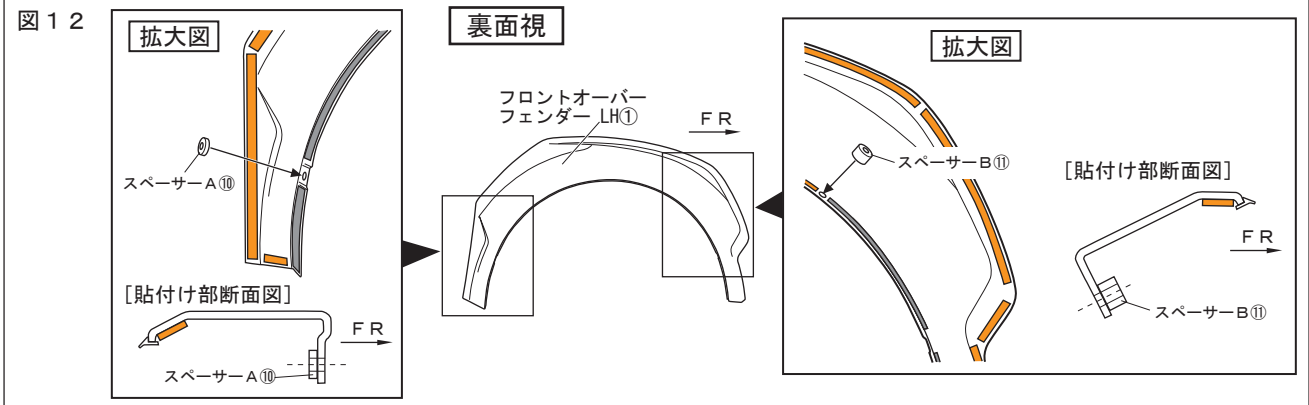
⚠ 警告

脱脂作業は大変重要な作業です。脱脂作業が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

15. 図12のようにフロントオーバーフェンダー①②の図示穴周囲をIPAで脱脂し、スペーサーA⑩、スペーサーB⑪を貼付ける。

△注意：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（以下IPAという）又はホワイトガソリンを使用してください。

👉アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。



16. フロントオーバーフェンダー①②の両面テープの離型紙を図13のように矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

17. リヤオーバーフェンダー No.1③④、リヤオーバーフェンダー No.2⑤⑥の両面テープの離型紙を図14のように矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼付ける。

△注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

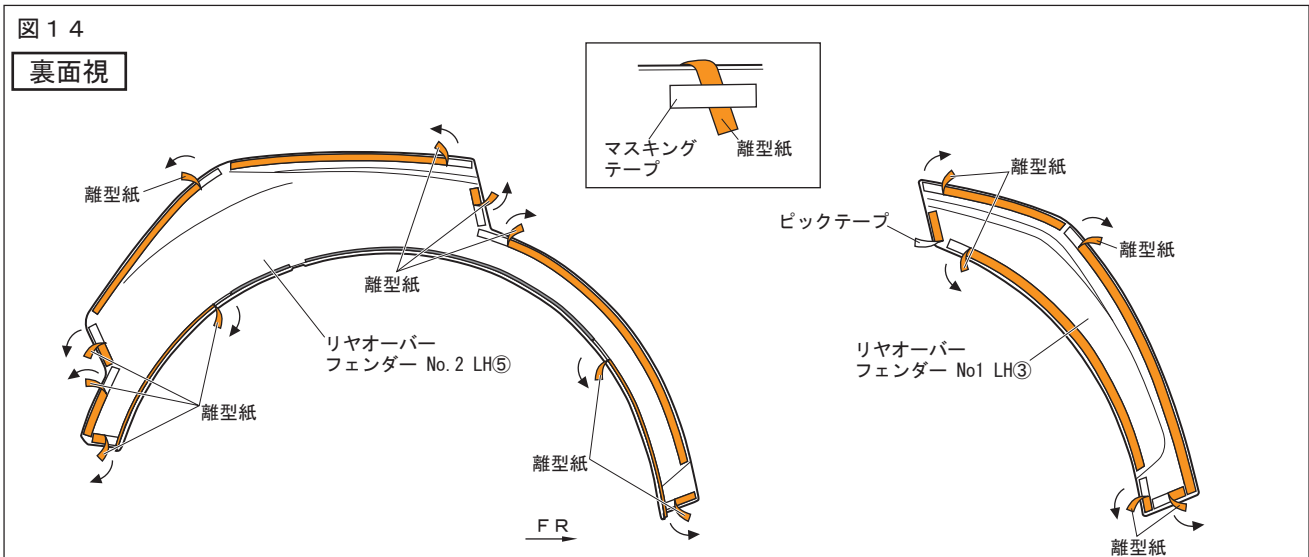
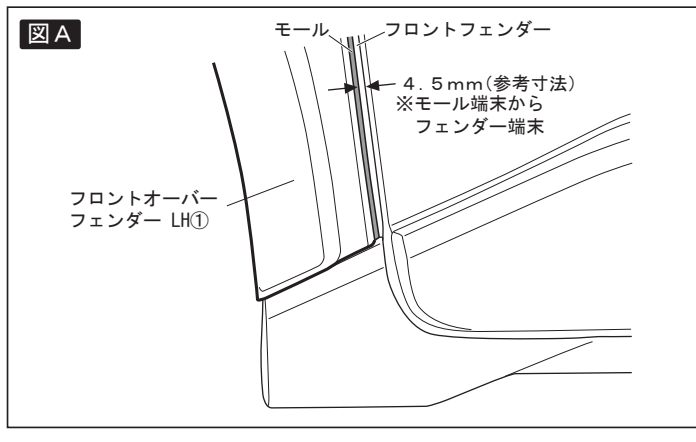
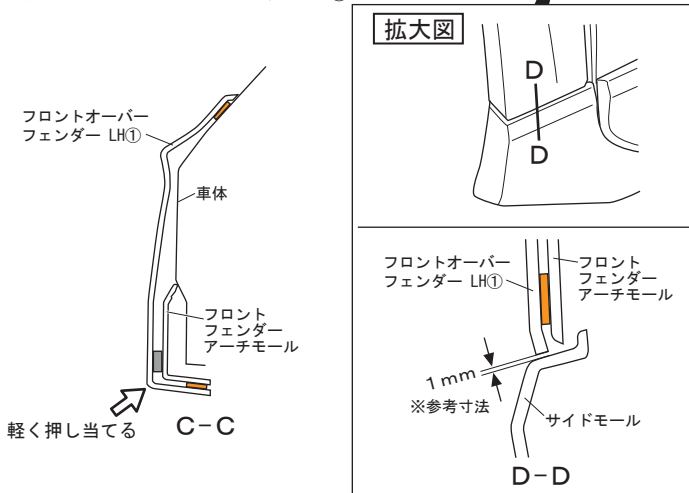
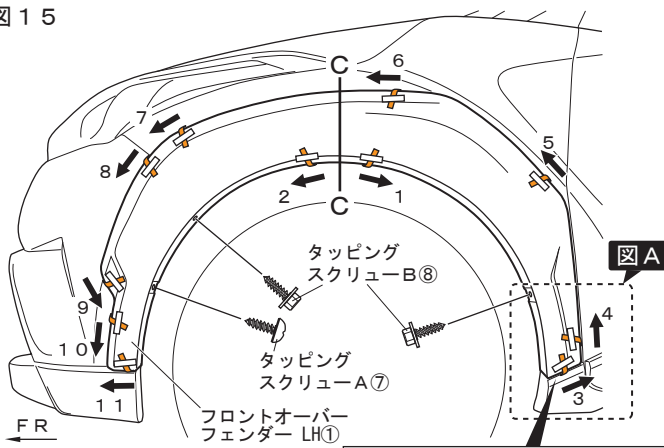


図 15



※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□フロントオーバーフェンダー 取付要領

1. フロントオーバーフェンダー①②をタッピングスクリューA⑦とタッピングスクリューB⑧で仮固定し、製品をC-C断面図の矢印の方向軽く押し当てながら両面テープの離型紙1、2の順で剥がして圧着する。

△注意：タッピングスクリューB⑧は、取付準備作業1.で取外した車両タッピングスクリューの位置に取付けてください。

2. 両面テープの離型紙を左図3～11の番号順に剥がしながら貼付け圧着する。圧着後、タッピングスクリューA⑦、タッピングスクリューB⑧を本締めする。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

👉 アドバイス

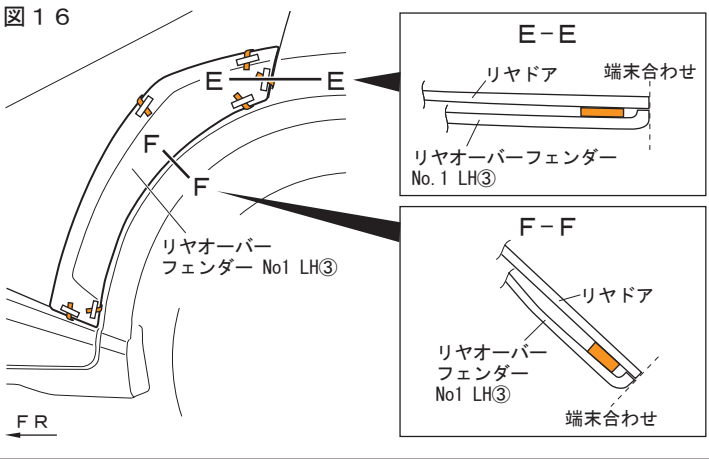
両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

⚠️ 警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

図 16



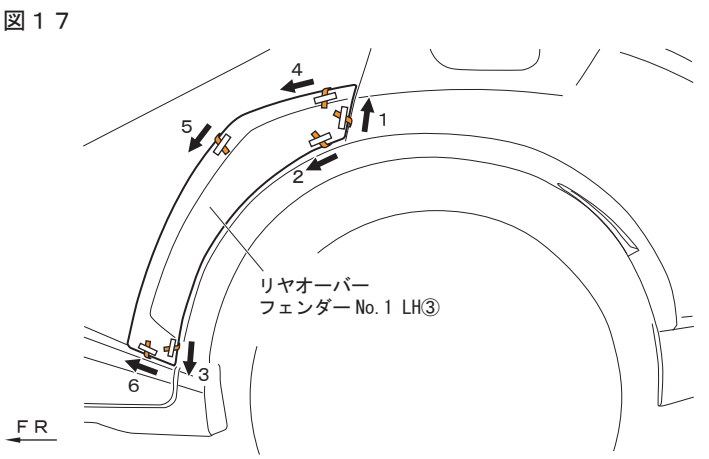
※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

リヤオーバーフェンダー 取付要領

1. リヤオーバーフェンダー No.1③④をボディ色が見えないように車両リアドア端末に製品端末を合わせて位置決めする。

△注意：左図（図E-E、F-F）を参照し、リヤオーバーフェンダー No.1 LH③とリアドア端末を揃える様に位置決めしてください。

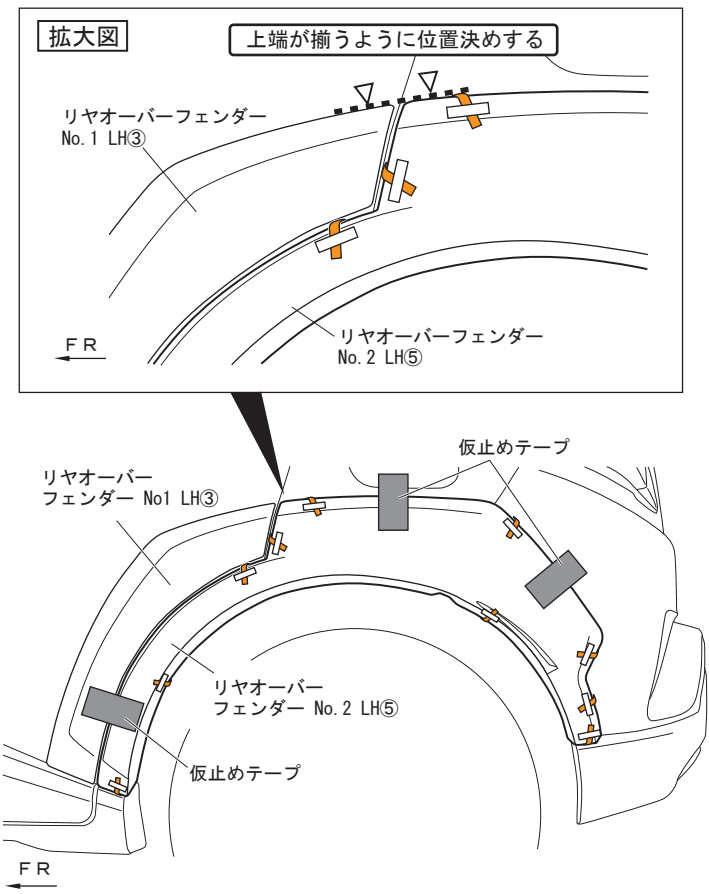
図 17



2. 取付位置を確認して両面テープの離型紙（左右各6箇所）を左図番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

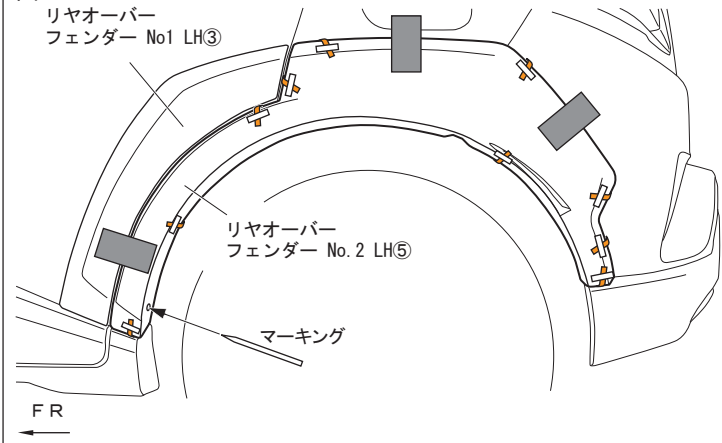
図 18



3. 図18およびアドバイスを参考にリヤオーバーフェンダー No.2⑤⑥を位置決めし、ガムテープ等で仮固定する。

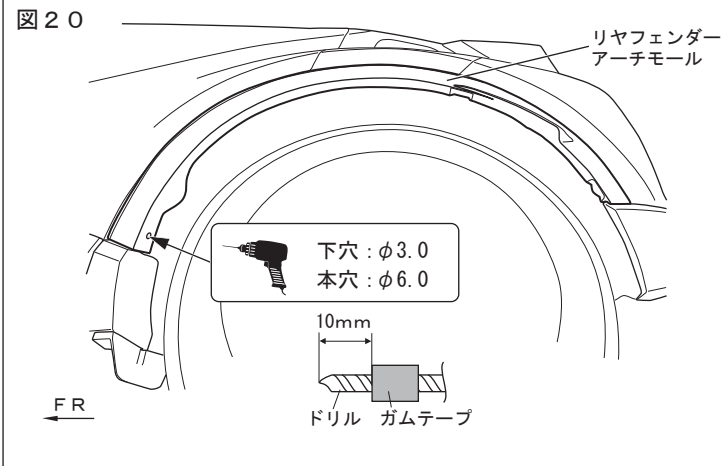
👉アドバイス：先に取付けたリヤオーバーフェンダー No.1 LH③の上端に合わせてリヤオーバーフェンダー No.2 LH⑤の上端を揃えるように位置決めしてください。

図 19

リヤオーバー
フェンダー No.1 LH③

4. リヤオーバーフェンダー No.2⑤⑥前側下方の穴位置に合わせて、リヤフェンダーアーチモールに穴あけ位置をマーキングする。(左右各1箇所)

図 20

リヤフェンダー
アーチモール

5. リヤオーバーフェンダー No.2⑤⑥を取外す。

6. 図20のようにドリルにストッパーになるようにガムテープを巻き、リヤフェンダーアーチモールのマーキング位置に下穴をφ3.0であけ、φ6の本穴をあける。(左右各1箇所)

7. 穴周囲のバリを除去する。

👉 **アドバイス:** 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

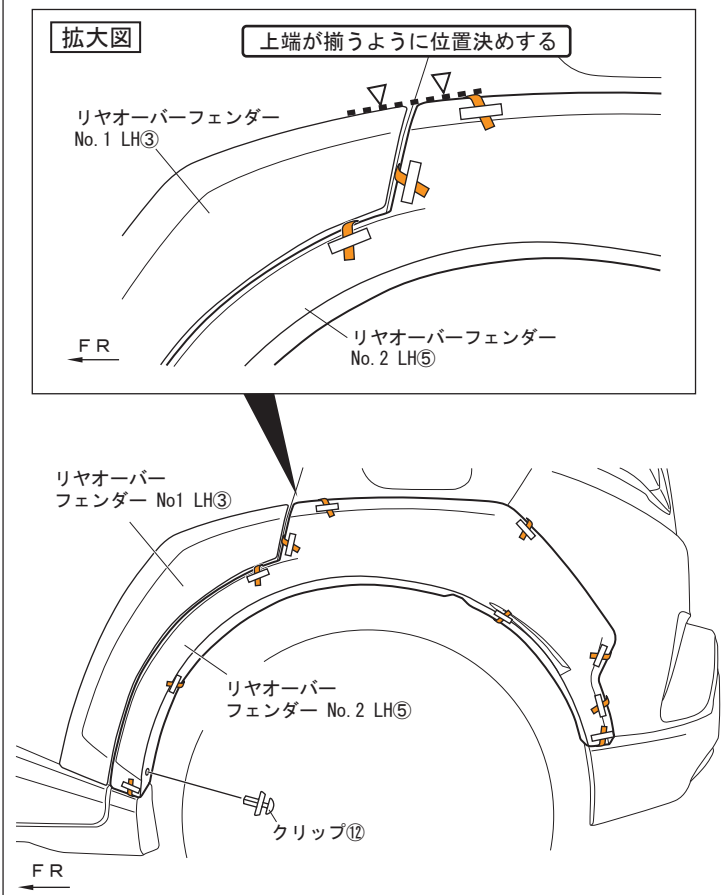
⚠️ **注意:** 作業時は保護メガネを着用してください。

⚠️ **注意:** バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

図 21

拡大図

上端が揃うように位置決めする

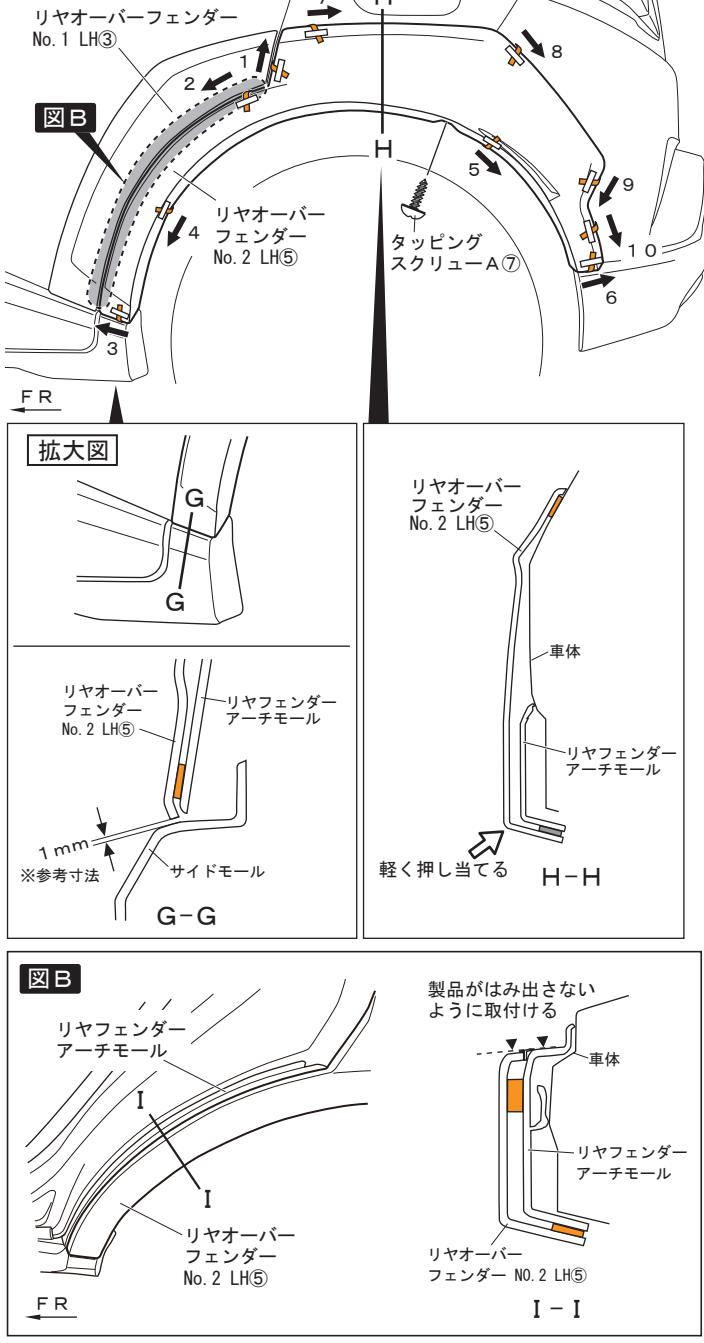
リヤオーバーフェンダー
No.1 LH③リヤオーバーフェンダー
No.2 LH⑤リヤオーバーフェンダー
No.2 LH⑤

8. 図21およびアドバイスを参考にリヤオーバーフェンダー No.2⑤⑥を位置決めする。

👉 **アドバイス:** 先に取付けたリヤオーバーフェンダー No.1 LH③の上端に合わせてリヤオーバーフェンダー No.2 LH⑤の上端を揃えるように位置決めしてください。

9. リヤオーバーフェンダー No.2⑤⑥前方下方をクリップ⑫で固定する。(左右各1箇所)

図 2 2



10. リヤオーバーフェンダー No.2⑤⑥をタッピングスクリー A⑦で仮固定する。

11. 取付位置を確認して製品をH-H断面図の矢印の方向軽く押し当て、両面テープの離型紙（左右各10箇所）を左図番号順に剥がしながら貼付け圧着する。圧着後、タッピングスクリー A⑦を本締めする。

△注意：左図（図B）を参照し、リヤフェンダーアーチモール上面からリヤオーバーフェンダー No.2 LH⑤の上面が、はみ出さないように取付けてください。

△注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△注意：ドア開閉時に車両や製品同士が干渉しない事を必ず確認してください。

👉 アドバイス

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、かからないようにオープンタイム（静止時間）をお取りください。

⚠️ 警告

両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。

両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びオーバーフェンダー廻りに傷が付いていないことを確認する。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町800番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
<http://www.trdparts.jp/>